

豊かな体験活動

お米とわたしの365日

元気いっぱいさわやかえがお
ひとみかがやく植水っ子



祝



130周年

さいたま市立植水小学校

自然とのかかわり < 米作り >

4月・種もみ



5月・田植え



9月・稲刈り



総合的な学習の時間を活用して、地域の水田で米作りを行う取組を継続して行っている。地元農家やJA植水支店の方々から御指導いただきながら、4月の種もみまきにはじまり、田植え、夏の間の生育状況の観察、稲刈り、収穫した米をアフリカのマリ共和国に支援米として贈る活動など、一年間を通して米作りを学んでいる。

本校は、さいたま市の西に位置し、自然に恵まれた教育環境という特色を生かして、身近な環境に関心をもち、主体的に取り組む子の育成に取り組んでいる。また、創立130周年を迎える歴史と伝統のある学校であり、平成11年度から総合的な学習の時間を活用して、米作りの体験活動に継続して取り組んでいる。

身近な環境

体験活動



地域の方々とのかかわり

地元農家の方が、「子どもたちのために」との思いで、自分の農地を「学校ファーム」として提供していただいている。田んぼの広さは約8ヘクタールである。地元生産者だけでなく、JA、JA女性部植水支部、さいたま市、埼玉中部農業共済組合、ボランティア団体「食・緑・水と環境を守る埼玉県民会議」らが協力しており、地域連携が深まる活動となっている。

田植えの際の御指導



稲刈り後の登し入れ



他国とのかかわり

収穫した米をアフリカのマリ共和国に支援米として贈る活動をすることで、世界の食料事情や環境保全へと視野を広げることによって学びが深まるようになった。その成果として、児童の身近な環境への関心を高めて環境保全に寄与する心を育んだり、他国を尊重し多様な価値観を理解し認めて行動する態度を養ったりすることができた。

支援米発送式

